

2024年度 第3回保土ヶ谷区障害者自立支援協議会(防災部会)会議録	
日時	2024年9月11日(水) 16:00-17:30
開催場所	地域活動ホームゆめ 食堂・ボランティアルーム
出席者	(ときわ虹の会)誉田氏 (いわまワークス)戸村氏 (区社協)本橋氏 (夢21)遠藤氏 (保土ヶ谷区役所)市川氏・岩垂氏 (たちばな会)中戸川氏 稲垣氏 (左近山特別支援学校)橋本氏 (ゆめ)吉田氏 (ほどがや希望の家)早坂氏 島田氏 (基幹相談)遠藤氏 吉田氏 朝倉 計15名
欠席者	(保土ヶ谷区視覚障害者福祉協会)関塚氏(コペルプラス天王町教室)八木沢氏 (ウイアー)犬飼氏 (ゆめあん)榎本氏 (たちほどがや)瀬之口氏 (エターナル新桜ヶ丘・上星川)石川氏 (療育スタジオピコ)平山氏 (はるの家)坂本氏 (タキオングリント)佐々木氏 (ハートの会)菅沼氏 (トラック)カ石氏 計11名
開催形態	公開(傍聴人: 名)・ 非公開

議 事

16:00~16:30「被災地障害者センター横浜ほ도가や 開設訓練マニュアル」の読み合わせ

- ・まずは自法人の防災マニュアルなどに従ってそれぞれ安全確保。
- ・センターの開設判断は代表はじめ事務局内で連絡を取り合っている。
- 事務局内、正会員への連絡手段は現在検討中。
- ・センター設置場所の第1候補は地活ゆめのボランティアルームとする。

16:30~17:00 ボランティアルームへ移動し、シミュレーション訓練を実施。

- 本部・情報班・実働班・外部ボランティアに分かれ、それぞれの役割を確認した。

本部センターの全体把握、レイアウト、会員の配置などのコーディネート

情報班外部ボランティアの受け入れ、被災状況の情報受付など。外部とのやりとりが主。

実働班情報班に入ってきた内容を共有しながら現場で活動。外部ボランティアと地域防災拠点へ SOS チラシを配りに行くのも想定。

【シミュレーション訓練から挙げた課題・意見】

- ・SOS チラシについて:当事者団体で事前配布することも可能だが失くしてしまうかも。
- ・地域防災拠点まで避難できない当事者も多いのでは。SOS チラシの内容を目立つところに大きく貼り出したりすると、避難してきた人たち伝いで周知しやすいかもしれない。→可能かの判断は各地域防災拠点に委ねられている。
- ・センターが開設されたことの周知方法についても検討が必要。
- ・センター開設後、誰が関係者か分からなくなってしまうのでは。→ビブスを購入予定だが、身分を証明することが難しいので訪問時に警戒されてしまう可能性あり。

★日頃から地域のイベントや防災会議などに参加するなかで、センターの存在を周知していけるとよい。

17:00~17:30 食堂にて、能登半島への被災地支援について報告（希望の家 島田氏）

- ・別紙あり

次回の日程

事務局会議

令和6年10月6日（水）16:00~17:30/ゆめボランティアルーム

防災部会

令和6年11月13日（水）16:00~17:30/ゆめ食堂